

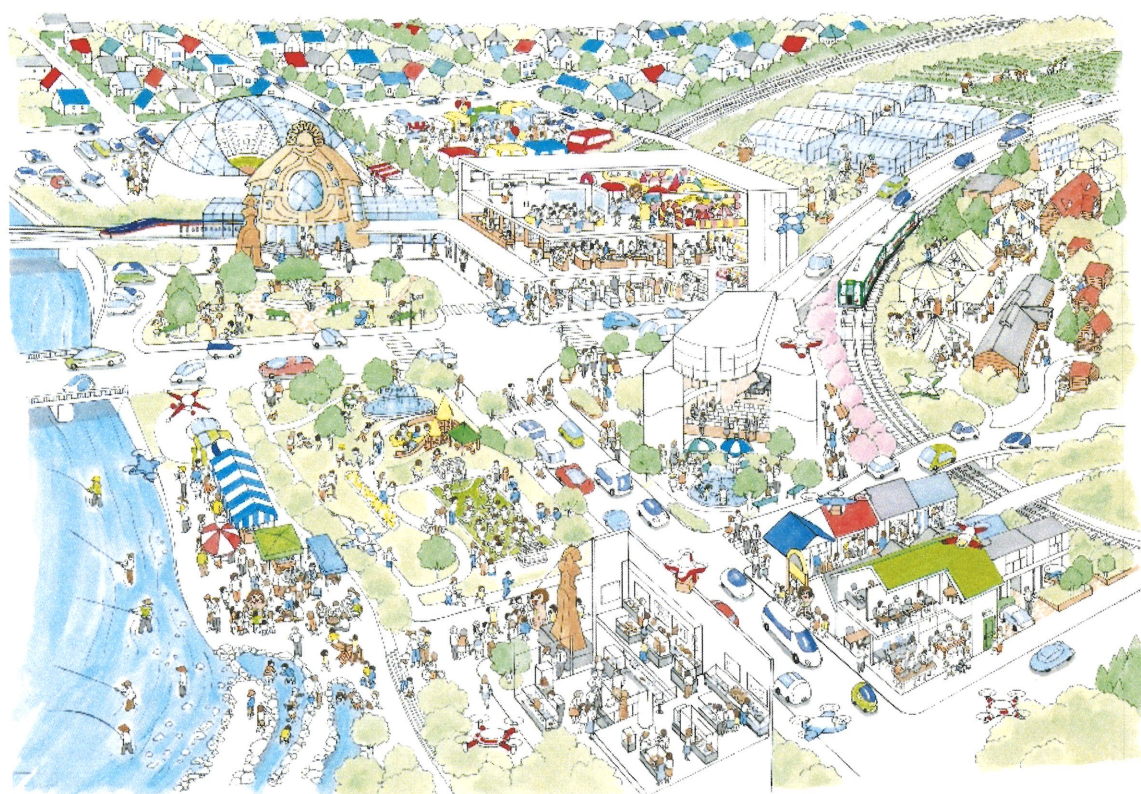


舟形町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界各地で自然災害が頻発し、私たちの暮らしや社会活動に影響を及ぼしており、その対策は不可欠なものとなっております。

政府は2020年に、「カーボンニュートラル」を表明し、温室効果ガスの排出を2050年までに全体として実質ゼロにする目標を掲げ、2021年に閣議決定された地球温暖化対策計画では、2030年度目標として、「温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指し、さらに、50%の高みに向け、挑戦を続けていく。」ことを表明し、地方自治体や民間企業等の主体による取組みの重要性が示されました。

本町においても、地球温暖化対策を喫緊の課題であると捉え、まちの将来像として掲げる『住んでいる人が誇れるまちづくり「わくわく未来ふながた」』の実現に向けて、豊かな自然や特色のある産業・文化を未来の世代に引きついでいくため、町民や事業者の皆様と共に、2050年までに本町における二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」に挑戦することを宣言します。



「ふながたまちの未来」 第7次舟形町総合発展計画より

令和5年2月27日

舟形町長 森 富 広